

公共交通の新たな可能性を模索  
最先端のバーチャルテクノロジーで入院や通院中の子どもたちを応援！

## 交通×医療・IT分野によるバーチャルお出かけ体験会が 市内2病院で行われます

本市では、コミュニティ交通の充実に向けて、民間事業者と連携し、より利用しやすい地域公共交通の環境整備に取り組んでおります。

現在、地域の多様なプレーヤーが参加する共創コンソーシアム（代表幹事：川崎鶴見臨港バス株式会社）により、国土交通省共創モデル実証プロジェクトの採択を受け、本年10月から川崎区の一部地域において、デマンド交通「のるーと KAWASAKI」の実証実験運行を実施しています。

この度、本取組の一環として、バス会社や鉄道会社、病院、IT企業などの共創により、同区にある「総合川崎臨港病院」と「市立川崎病院」において、入院や通院中の子どもたちを対象に複数台のプロジェクターやモニターを用いて、まるでバスや鉄道の運転席にいるような体験が提供されます。

この体験を通して、バスや鉄道などを利用し、その場所に行ってみたい気持ちや治療へのモチベーションを高めることで、外出が難しい子どもたちの「生きがい」を支えるなど、他分野との共創による公共交通の新たな可能性を模索します。

### 1 取組概要：バスや鉄道の「運転手が見ている」特別な景色を360度8Kカメラ映像で体験

映像を3面モニターまたは室内の天井、壁面（正面、左右面）の4面に投影するプロジェクターで映し出し、その場所にいるような体験を行うものです。

体験した方にアンケートなどを行い、今後の展開、拡張の可能性や課題などを検証します。



「4面投影のプロジェクターイメージ（JR南武線）」



「3面モニターイメージ（川崎鶴見臨港バス）」 「3面モニターイメージ（小田急ロマンスカーVSE）」

## 2 場所、開催日：

- ・総合川崎臨港病院：令和5年12月5日（火）～12月9日（土）の5日間  
外来診療時間に小児外来待合スペースで3面モニターによる実施  
**※医療機関のため、患者さんと付き添いの方以外は入場、体験できません**
- ・市立川崎病院：令和5年12月5日（火）～12月6日（水）の2日間  
8階小児病棟のプレイルームで4面投影のプロジェクターによる実施  
**※医療機関のため、患者さんと付き添いの方以外は入場、体験できません**

- ## 3 取材について
- ：医療機関での実施となるため感染症対策等の観点から、取材希望する報道機関の方は事前に申し込みをお願いいたします。  
取材当日に発熱、風邪症状がある方は取材をご遠慮ください。

### 【スケジュール】

12月5日（火）両病院とも映像の内容は同じです  
(市立川崎病院)

- 13:00～13:45 4面投影のプロジェクターによる映像体験・取材 1回目
- 14:00～14:45 4面投影のプロジェクターによる映像体験・取材 2回目

(総合川崎臨港病院)

- 15:30～16:00 会議室で取組の概要説明（ブリーフィング）
- 16:00～16:30 3面モニターによる映像体験・取材

(申込先) 川崎市まちづくり局交通政策室

電話：044-200-1976

メール：50kousei@city.kawasaki.jp

- ## 4 取組メンバー
- ：川崎鶴見臨港バス株式会社（川崎市川崎区）、小田急電鉄株式会社（海老名市）  
東日本旅客鉄道株式会社（東京都渋谷区）  
総合川崎臨港病院（川崎市川崎区）、川崎市立川崎病院（川崎市川崎区）  
フォレストデジタル株式会社（北海道十勝郡浦幌町）  
認定NPO法人キッズアートプロジェクト、一般社団法人大師 ONE 博  
川崎市まちづくり局交通政策室【順不同】



問合せ先  
川崎市まちづくり局交通政策室 藤島  
電話 044-200-2762